

発 言 通 告 書

令和 7 年 12 月 1 日

松山市議会議長 原 俊 司 殿

松山市議会議員 吉 富 健 一

次のとおり通告します。

発言順位	2	受領日時	12 月 1 日 午前・午後	5 時 40 分	2 枚中 1 枚目
質問等の方式	一問一答方式 ・ 一括方式			発言時間	約 60 分
答弁を求める者	・市長 ・教育長 ・選挙管理委員会委員長 ・公平委員会委員長 ・農業委員会会長 ・監査委員 ・公営企業管理者				

No	件 名	発 言 の 要 旨
1	新たな財源を生み出す基金運用について	(1) 基金の運用方針について (2) 基金の運用状況について ①基金の主な内訳について ②債券での運用状況について ③債券の利回りや運用益について (3) 基金の運用益を高める取組について ①基金運用の専門家の確保や専門的な部署の立ち上げについて ②債券の一層の活用について見解を問う。
2	商店街の今後について	(1) 閉じていく商店街について ①閉じていく商店街への支援策について問う。 ②閉じてしまった旧商店街の支援について問う。 (2) 本市の商店街形成の歴史と現状について ①商店街の形成過程や地域分布の状況を問う。 ②今日までの商店街組合等の増減はどうなっているか。 ③商店街の特徴や傾向はどのようなものか。 (3) 本市における商店街の役割と展望について ①商店街の役割の認識と今後の展望を問う。 ②商店街支援の方策を問う。
3	教育改革について	(1) 教員不足について ①市立小・中学校における人手不足の現状を問う。 ②学校現場における産休育休代替等教員の比率について ③産休育休期間の途中短縮など運用緩和について ④教員不足の解消策について見解を問う。 (2) 市立小・中学校の働き方改革のための取組状況について (3) マンツーマン型オンライン英会話の導入について

